

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1 補助金名称	すその夏まつり補助金				2 担当課名	商工観光課		
3 予算科目	款	7	項	1	目	3	事業コード	0720
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
5 根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市産業に関する補助金交付要綱				
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	b事業費補助		
8 交付先分類	c特定団体(その他)							
9 交付先	裾野市夏まつり実行委員会							
10 補助金の目的	市民あげてのコミュニティの場の創出。裾野市の魅力の発信による観光振興							
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	来客消費による商業者の売上増と市民のコミュニティの創出							
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	すその夏まつりの開催							
13 積算根拠の有無	無							
14 積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定							
15 補助対象経費の設定の有無	無							
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17 団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足					
団体								
人数								
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	27 年度	28 年度	29 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	17,870	17,870	17,000					
合計	17,870	17,870	17,000					
19 団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足					
補助金 助成金	市	17,870	17,870					
	その他	0	0					
事業収入	7,493	9,179						
会費(自己負担等)	0	0						
繰越金	1,642	2,164						
その他	7,226	7,831						
合計	34,231	37,044						
市の補助金の割合	52%	48%						

補助金名称	すその夏まつり補助金	担当課名	商工観光課
-------	------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	すその夏まつり補助金	担当課名	商工観光課
-------	------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	事業の終了をもって廃止を検討
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	×	定めがない
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	自主財源の増額を促す
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	来客消費による商業者の売上増と市民のコミュニティの創出
2達成状況	年々来場者が増加し、賑わいが増し、経済効果も大きい

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	市民に定着し、盛り上がっている

(7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	事業規模について関係者で検討するとともに、自主財源の増額(出店者や利用者負担)等を検討する。
		見直しの時期	H29
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	有害鳥獣防護柵設置費補助金			2担当課名	農林振興課			
3予算科目	款	6	項	1	目	3	事業コード	0608
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H15	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有	例規名称			裾野市有害獣防護柵設置費補助金交付要綱			
6性質別分類①	d市単独助成			7性質別分類②	b事業費補助			
8交付先分類	d不特定団体及び個人							
9交付先	市内に経営耕地を有し、農家資格のある者							
10補助金の目的	有害鳥獣による農作物被害を防止するため、防護柵を設置する費用の一部を補助する。							
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	農作物被害の軽減と営農環境の保全。							
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	防護柵設置に要した原材料費の一部。							

13積算根拠の有無	無
14積算の考え方 計算式	定額 (補助率1/2 上限45,000円)

15補助対象経費の設定の有無	有
16補助対象経費の内容	交際費 × 慶弔費 × 飲食費 × 懇親会費 × 積立金 ×
その他補助対象の項目	

17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足
団体			
人数			

	決算		予算	(千円)
18市の補助金の財源	27 年度	28 年度	29 年度	補足
国・県支出金	0	0	0	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	523	466	750	
合計	523	466	750	

19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足
補助金			
助成金			
市	523	466	
その他	0	0	
事業収入	0	0	
会費(自己負担等)	523	466	
繰越金	0	0	
その他	0	0	
合計	1,046	932	
市の補助金の割合	50%	50%	

補助金名称	有害鳥獣防護柵設置費補助金	担当課名	農林振興課
-------	---------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	有害鳥獣防護柵設置費補助金	担当課名	農林振興課
-------	---------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	農作物被害の軽減と営農環境の保全。
2達成状況	農作物被害の軽減

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	申請件数が増加傾向にあり、有害鳥獣対策としての事業効果も高い。

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	有害鳥獣による農作物被害軽減の措置として必要であるため。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	環境保全型農業支援補助金			2担当課名	農林振興課					
3予算科目	款	6	項	1	目	3	事業コード	0608		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	不明	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市環境保全型農業支援補助金交付要綱							
6性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動			7性質別分類②	b事業費補助					
8交付先分類	d不特定団体及び個人									
9交付先	市内に経営耕地を有する農家									
10補助金の目的	化学肥料や農薬の使用を低減する取り組みに関する費用の一部を補助する。									
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	食の安心安全と付加価値の高い農作物の栽培。									
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	天然肥料の作付や堆肥の施用等に係る経費。									
13積算根拠の有無	有									
14積算の考え方 計算式	市負担1/4									
15補助対象経費の設定の有無	有									
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目										
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足							
団体										
人数										
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)					
	27 年度	28 年度	29 年度	補足						
国・県支出金	150	150	225							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	50	50	75							
合計	200	200	300							
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足							
補助金	市	50	50							
助成金	その他	150	150							
事業収入		0	0							
会費(自己負担等)		0	0							
繰越金		0	0							
その他		0	0							
合計		200	200							
市の補助金の割合		25%	25%							

補助金名称	環境保全型農業支援補助金	担当課名	農林振興課
-------	--------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	環境保全型農業支援補助金	担当課名	農林振興課
-------	--------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	国・県との協調補助により市補助率1/4
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	食の安心安全と付加価値の高い農作物の栽培。
2達成状況	有機栽培による安全な農作物栽培の実施

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	安全性と付加価値の高い農作物の生産に成果を上げている。

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	国・県との協調補助であり、安心安全で付加価値の高い農作物生産に必要なため。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	特殊病虫害対策補助金				2担当課名	農林振興課							
3予算科目	款	6	項	1	目	3	事業コード	0608					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H17以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市農林業指導及び振興に関する補助金等交付要綱								
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助							
8交付先分類	d不特定団体及び個人												
9交付先	市内に経営耕地を有する農家												
10補助金の目的	病虫害による農作物の被害拡大を防ぐため、病虫害等の駆除に関する費用の一部を補助する。												
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	病虫害の蔓延による農作物被害拡大の防止。												
12補助対象者・団体が補助金で行う活動	害虫駆除用の農薬代等。												
13積算根拠の有無	無												
14積算の考え方 計算式	定額												
15補助対象経費の設定の有無	無												
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×			
その他補助対象の項目													
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足										
団体													
人数													
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	27 年度	28 年度	29 年度	補足									
国・県支出金	0	0	0										
その他補助金	0	0	0										
一般財源	0	0	200										
合計	0	0	200										
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足										
補助金													
助成金													
市	0	0											
その他	0	0											
事業収入	0	0											
会費(自己負担等)	0	0											
繰越金	0	0											
その他	0	0											
合計	0	0											
市の補助金の割合													

補助金名称	特殊病害虫対策補助金	担当課名	農林振興課
-------	------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	△	特殊病害虫の範囲(定義)が不明瞭である。
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	特殊病虫害対策補助金	担当課名	農林振興課
-------	------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	×	被害規模等により金額が異なるため
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	×	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	病虫害の蔓延による農作物被害拡大の防止。
2達成状況	過去2ヵ年交付実績なし

3補助効果の評価	dその他
4評価の理由	過去2ヵ年交付実績はないが、仮に発生した時には迅速な対応が必要

(7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	近隣市町の状況を確認し、農薬費等の標準値を確認する。
		見直しの時期	平成29年度中
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	農業近代化資金利子補給金			2担当課名	農林振興課								
3予算科目	款	6	項	1	目	3	事業コード	0608					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H8以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市農業近代化資金利子補給要綱裾野市農業経営基盤強化資金利子補助金交付要綱								
6性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動			7性質別分類②	c利子補給補助								
8交付先分類	c特定団体(その他)												
9交付先	農業経営改善計画の認定を受けた農業者等												
10補助金の目的	融資機関から農業経営基盤強化資金の貸付を受けた農業者に対し、利子の一部を補助する。												
11補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	農業担い手の負担軽減と農業経営支援。												
12補助対象者・団体が補助金で行う活動	農業者への融資利子額の補填。												
13積算根拠の有無	有												
14積算の考え方 計算式	補給率1%以内												
15補助対象経費の設定の有無	無												
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×			
その他補助対象の項目													
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足										
団体													
人数													
	決算		予算		(千円)								
18市の補助金の財源	27 年度	28 年度	29 年度	補足									
国・県支出金	46	41	75										
その他補助金	0	0	0										
一般財源	46	41	75										
合計	92	82	150										
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足										
補助金	市	46	41										
助成金	その他	46	41										
事業収入	0	0											
会費(自己負担等)	0	0											
繰越金	0	0											
その他	0	0											
合計	92	82											
市の補助金の割合	50%	50%											

補助金名称	農業近代化資金利子補給金	担当課名	農林振興課
-------	--------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	農業近代化資金利子補給金	担当課名	農林振興課
-------	--------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	農業担い手の負担軽減と農業経営支援。
2達成状況	市内農家の経営支援

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	農業担い手の負担軽減と農業経営の安定に成果を上げている。

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	県との協調補助であり、担い手の負担軽減と支援に必要なため	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	農業機械等導入事業補助金			2担当課名	農林振興課					
3予算科目	款	6	項	1	目	3	事業コード	0608		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		有							
5根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市農業機械等導入事業補助金交付要綱						
6性質別分類①	d市単独助成			7性質別分類②	dその他					
8交付先分類	eその他									
9交付先	認定農業者等									
10補助金の目的	農業用施設・設備・機械等の購入に関する費用の一部を補助する。									
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	認定農業者の農業経営効率化と大規模化の支援。									
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	農業用施設・設備・機械の購入に係る経費。									
13積算根拠の有無	有									
14積算の考え方 計算式	補助対象経費の10分の1以内(機械上限=20万円、設備上限=50万円、施設上限=100万円)									
15補助対象経費の設定の有無	有									
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目										
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足							
団体										
人数										
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)					
	27 年度	28 年度	29 年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	314	2,000	1,700							
合計	314	2,000	1,700							
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足							
補助金	市	314	2,000							
助成金	その他	0	0							
事業収入	0	0								
会費(自己負担等)	0	0								
繰越金	0	0								
その他	2,826	18,000								
合計	3,140	20,000								
市の補助金の割合	10%	10%								

補助金名称	農業機械等導入事業補助金	担当課名	農林振興課
-------	--------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	農業機械等導入事業補助金	担当課名	農林振興課
-------	--------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	△	終期を設定し、効果の検証を行う。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	認定農業者の農業経営効率化と大規模化の支援。
2達成状況	認定農業者数の増加。

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	認定農業者の増加と申請件数の増加

(7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	平成29年度までの効果を検証し、継続の可否を決定する。
		見直しの時期	平成30年度中
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			